

令和5年度

事業計画書

基本的な考え方

産業振興・観光振興を軸に地域力を取り戻し
様々な環境変化に対応できる持続可能なまちづくりを目指します

－大きな打撃を受けたコロナの３年間－

新型コロナウイルスの感染拡大から３年が経過しました。この間、医療のひっ迫や経済の落ち込みなど国内の社会経済は大きな影響を受け、特に小樽においては、基幹産業の一つである観光の落ち込みにより、飲食店や土産品店、宿泊施設など観光関連産業に留まらず、他の産業にまで波及し、小樽経済は大きな打撃を受けました。

こうした中、当所では新型コロナ特別相談窓口を開設し、各種支援金・補助金の申請サポートや融資のあっせんなど、市内の中小・小規模事業者がこの難局を乗り越えるため、会員・非会員を問わず、事業者に寄り添った支援をしてきました。こうした結果、これまでに約１，５００の事業所から相談があり、商工会議所が担う重要な役割を再認識しました。

－依然厳しい経営環境にある中小・小規模事業者－

コロナ禍は続いているものの、コロナとともに生きる社会生活への意識が進み、国内外の観光需要が回復し始めるなど社会経済活動は正常に戻りつつあります。しかしながら、原材料・仕入価格の高騰が長期化し、十分な価格転嫁ができないことによる収益の圧迫、労働力不足による売上機会の損失、コロナ拡大期に調達した融資の返済など、中小・小規模事業者を取り巻く経営環境は依然厳しい状態が続いています。加えて、コロナ禍で変化した人々の生活スタイルや、デジタル社会の進展、カーボンニュートラル、SDGsなど社会の環境変化にも対応していくことが求められています。

－会員の信頼に応え、将来を見据えたまちづくりを推進－

当所は、会員から寄せられる期待や信頼に応えるべく、組織を挙げて、きめ細かな相談対応や補助金・助成金申請、インボイス制度への円滑な対応に向けた情報提供、新たなチャレンジへの後押し、社会の環境変化への対応など、地域を支える中小・小規模事業者の事業継続、労働力の確保に向けて取り組んで参ります。

また、危機的な人口減少を克服するために、これまで小樽駅前周辺地区再開発や小樽港第３号ふ頭基部のにぎわい創出、歴史的まちなみの保全・活用、「知産志食しりべし」による啓発活動など、将来を見据えたプロジェクト活動を展開してきましたが、今後も引き続き推進して参ります。

さらには、新たな観光資源として期待されるオタモイ地域の開発、旧北海製罐小樽工場第３倉庫の利活用、本年２月に当所に窓口を設置した「おたる移住・起業『ひと旗』サポートセンター」と創業、事業承継相談窓口を連携させた、小樽への移住・定住の促

進、廃業の抑制を図るとともに、働く女性の活躍支援、まちの再生に重要な社会資本となる北海道新幹線の開業が地域により大きな効果を生み出すため戦略の検討、インバウンド需要を確実に掴み、地域活性化につなげるべくツアーの造成を行うなど、人口減少対策を念頭に置いたまちづくりに取り組んで参ります。

－会員ニーズに即した事業を展開－

当所の組織力強化に向けては、部会や会員訪問を通じて、会員ニーズに即した事業展開に努めるとともに、所内のデジタル化を進め、業務の効率化、ペーパーレス化を進めて参ります。

社会環境が大きく変化している中、中小・小規模事業者とともに歩む「未来を拓く商工会議所」として、産業振興・観光振興を軸に地域力を取り戻し、様々な環境変化に対応できる持続可能なまちづくりを目指して参ります。

【令和5年度重点分野】

中小・小規模事業者の持続可能な経営支援

デジタル化等生産性向上支援

販路開拓・拡大支援

事業継続計画の策定支援

コロナ禍に加え原材料価格の高騰、労働力不足、後継者不足など様々な経営課題を抱える中小・小規模事業者が、将来にわたって安定的かつ持続的な経営につながられるよう、生産性向上につながる業務のデジタル化や、新たな販路開拓へのサポート、事業継続計画の策定支援等、伴走型支援により事業者とともに課題解決に取り組んで参ります。

地域課題解決に向けた要望活動と自らの実践

小樽駅前広場と駅前第一ビルの一体的な早期整備

北海道新幹線
新函館北斗～札幌間の早期完成

第3号ふ頭と周辺地域を連動させた
新たなにぎわい拠点の形成

地域を支える中小・小規模事業者対策のほか、北海道新幹線新函館北斗～札幌間の早期完成や人流拠点としての小樽港の整備、小樽駅前広場と駅前第一ビル一体的整備など社会資本整備に係る要望、人口減少対策に資する産業振興と雇用の場の創出など、地域住民や事業者の事業継続を支える要望活動を積極的に展開するとともに、商工会議所自らも課題解決に取り組んで参ります。

広い視点からの人口減少対策の推進

移住・定住の促進

インバウンド等
戦略的な観光の推進

1次・2次製品の消費拡大

危機的な状況にある人口減少を克服するため、これまでのプロジェクト活動を着実に進めるほか、当所に窓口を置く移住・起業サポートセンターと創業支援、事業承継支援を連携させた小樽への移住・定住の促進や、新たなインバウンドの誘客を通じた観光振興、1次・2次製品の消費拡大、働く女性の活躍支援等、様々な視点に立った人口減少対策に取り組んで参ります。

地域資源を活用したまちづくりの推進

歴史的まちなみの保全・活用

オタモイ開発の推進

旧北海製罐小樽工場第3倉庫
の保全・活用

小樽が持つポテンシャルを活かし、歴史的建造物が集中するエリアのまちなみ保全・活用、新たな観光資源として期待されるオタモイ開発、歴史まちづくりにおいて重要な役割を果たす旧北海製罐小樽工場第3倉庫の利活用など、将来を見据えたまちづくりに積極的に取り組んで参ります。

1 政策提言・要望活動



活力ある地域経済社会を実現するため、地域が抱える諸課題について国や道、市等関係機関に対して積極的な要望活動を展開します。

1 経済政策に関する提言・要望

- (1) 景気対策に関する事項
- (2) 中小企業対策に関する事項
- (3) 産業振興に関する事項
- (4) 金融政策に関する事項
- (5) 税制改正に関する事項
- (6) 地域開発に関する事項
- (7) 雇用労働対策に関する事項

2 地域経済の振興に関する提言・要望

- (1) 北海道新幹線に関する事項
- (2) 道路整備・交通円滑化に関する事項
- (3) 小樽港・石狩湾新港に関する事項
- (4) 観光振興に関する事項
- (5) 出先機関の機能維持に関する事項
- (6) 社会基盤整備に関する事項
- (7) まちづくりに関する事項
- (8) 地域資源の活用に関する事項
- (9) 中小・小規模事業者の振興に関する事項
- (10) 移住・定住に関する事項
- (11) 商店街振興に関する事項

2 中小・小規模事業者の経営力強化支援



市内の中小・小規模事業者が社会情勢の変化に対応し、持続的な発展につながるよう、業務のデジタル化支援や事業承継、販路拡大等、事業者とともに課題解決を図る伴走型による支援を行って参ります。

1 相談指導事業の実施

- (1) 金融・税務・経営・労務等に関する相談・指導
- (2) 小規模事業者経営改善資金制度の推進
- (3) 記帳指導員による記帳継続指導
- (4) 小規模企業共済制度、倒産防止共済制度の普及、加入促進
- (5) 知的財産権・法律等専門家による個別相談会の実施
- (6) 経営安定特別相談室の運営
- (7) 事業環境変化対応型支援事業の実施

2 地域産業の育成強化

- (1) 各種経済動向調査の実施
- (2) 伝統的技能の継承と異業種交流の促進
- (3) 商取引の斡旋及び業者照会
- (4) 小樽市中小企業振興基本条例に基づく連携・協力
- (5) 各種証明書の発行
- (6) イベント事業の開催、後援

3 経営発達支援事業の推進

- (1) 持続的経営計画の策定支援
- (2) 事業継続計画(BCP)の策定支援
- (3) 商品開発・国内外への販路拡大支援
- (4) 競争力向上に向けたDX支援
- (5) 経営発達支援計画の推進
- (6) 事業承継相談事業の推進

4 創業支援サポート連携事業の推進

- (1) 起業家育成の啓発
- (2) 創業等に関するワンストップ相談窓口の推進
- (3) 創業者フォローアップの実施

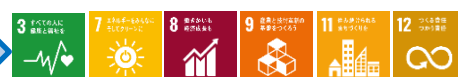
5 人材育成事業の推進

- (1) 各種セミナー・講演会の開催、後援
- (2) 各種検定試験等の実施と受験者の拡充

6 キャリア教育の推進

- (1) インターンシップ事業への協力
- (2) 大学等教育機関との連携推進
- (3) 若年者の地元定着に向けた環境整備の検討
- (4) 女性・高齢者の雇用機会、社会進出への支援

3 都市機能の充実



まちの基盤となる都市機能の充実を図り、利便性、安全性の高いまちを目指します。

1 都市機能の整備促進

- (1) 小樽駅前地区市街地の整備
- (2) 北海道新幹線新小樽(仮称)駅周辺地区の整備
- (3) 市内JR駅周辺地域の市街地整備の調査・研究
- (4) 地域公共交通ネットワークのあり方の検討

2 港湾機能の整備促進

- (1) 小樽港と石狩湾新港の振興策の検討
- (2) フェリーの利用促進、貨物増加策の検討
- (3) コンテナ航路の拡充
- (4) クルーズ船受入体制の強化
- (5) 小樽港のポートセールス強化
- (6) 日本海沿岸地域との航路強化
- (7) 日ロフェリー定期航路再開に向けた情報収集

4 まちづくり・地域づくりの推進



にぎわいのあるまちづくりを目指し、歴史的まちなみを活用した観光の高度化や新たな観光資源の発掘、インバウンドの誘致、「おたる移住・起業『ひと旗』サポートセンター」による移住・定住の推進に取り組みます。

1 地域資源を活用した地域活性化の推進

- (1) オタモイ開発の推進
- (2) 旧北海製罐小樽工場第3倉庫利活用に向けたNPO法人OTARU CREATIVE PLUSとの連携・支援
- (3) 日本遺産構成文化財をはじめとする歴史的まちなみや建造物の保全・活用
- (4) 北運河地区、第3号ふ頭周辺地区、旧国鉄手宮線の一体的な活用の促進
- (5) 「知産志食しりべし」キャンペーンを通じた1次・2次製品の消費拡大

2 持続可能な観光都市づくりの推進

- (1) インバウンド誘客策の検討
- (2) みなと観光の推進
- (3) 大型クルーズ客船の誘致
- (4) 観光DXの推進
- (5) 広域観光の強化と連携促進
- (6) DMOとの連携
- (7) 小樽観光戦略構想の推進
- (8) 観光振興のための財源確保の検討（観光税等）
- (9) 各種イベントや諸大会誘致、宣伝活動、観光人材育成への協力

3 移住・定住の推進

- (1) おたる移住・起業『ひと旗』サポートセンターによる移住・定住の推進

4 経済・文化交流の推進

- (1) 姉妹都市等との経済・文化交流の推進
- (2) 東アジア及び東南アジア圏との経済交流の推進

5 商店街等の振興促進

- (1) 市内買物運動の推進
- (2) 空き店舗調査の実施と調査結果の活用

5 持続可能な環境社会の促進



地球環境問題やエネルギー問題など、将来の子どもたちが安心して暮らせる社会を実現するため、中小・小規模事業者とともに持続可能な環境社会を目指して取り組みます。

- 1 カーボンニュートラルの推進
- 2 SDG s の普及啓発
- 3 北海道環境マネジメントスタンダード（HES）の普及、支援
- 4 環境・エネルギーに関する調査・研究
- 5 容器包装・リサイクル制度の普及・推進
- 6 環境ビジネスの研究
- 7 データセンター誘致に関する調査

6 会員サービス・会議所運営の強化



各種会員サービス事業の実施し、会員企業の従業員の福利厚生をサポートするほか、所内業務のデジタル化を推進し、業務の効率化、経費削減を図ります。

1 会員・各種サービス事業の充実

- (1) 新入社員合同入社式の開催
- (2) 会員交流ゴルフ大会の開催
- (3) 会員交流ボウリング大会の開催
- (4) 優良従業員表彰式の開催
- (5) 会報「SEA PORT WALTZ」の発行
- (6) ホームページ・SNS等による情報発信
- (7) 講演会の開催
- (8) 共済制度の普及
- (9) ビジネス総合保険制度の普及
- (10) 健康診断サービス事業の普及
- (11) 会員優待サービス事業の拡充
- (12) おもてなしギフトショップの推進
- (13) 労働保険事務組合の運営

2 会議所機能の強化

(1) 会議の開催

- ①議員総会
- ②常議員会
- ③委員会
- ④部会、分科会
- ⑤正副会頭会議

(2) 会議所機能の強化

- ①所内業務のデジタル化の推進
- ②会員増強運動の推進と財政基盤の強化
- ③部会役員懇談会の開催
- ④部会交流会の開催
- ⑤広報活動の充実、強化
- ⑥委員会と部会の連携強化
- ⑦小樽経済センター活用の推進
- ⑧青年部活動の推進
- ⑨女性会活動の推進
- ⑩市、議会、他団体等との連携推進
- ⑪コンプライアンス（法令順守）の徹底

(3) 当所に事務局のある団体の運営及び連携

- ①自衛隊小樽協力会
- ②小樽警察官友の会
- ③小樽日韓友好親善協会
- ④小樽日台親善協会
- ⑤日本珠算教育連盟小樽支部
- ⑥北海道新幹線建設促進小樽期成会
- ⑦小樽国際観光リゾート推進協議会
- ⑧小樽青色申告会連合会
- ⑨小樽間税会
- ⑩小樽発明協会